

# 花巻市 博物館だより

HANAMAKI  
CITY MUSEUM



No.74

2024.12

目次

▶ P1特別展「縄文ワールド —写真家・小川忠博の世界—」▶ P2-3テーマ展「新収蔵品展」

▶ P4-5特別展「縄文ワールド —写真家・小川忠博の世界—」▶ P6市史編さん室だより・祝入館者50万人達成

▶ P7館長コラム・インフォメーション ▶ P8花博コレクション



花巻市博物館HP



Facebook



Instagram



花巻市博物館開館20周年記念特別展

JOMON WORLD 縄文ワールド —写真家・小川忠博の世界—

花巻市博物館では、10月19日(土)から令和7年1月13日(月・祝)まで開館20周年記念特別展「縄文ワールド —写真家・小川忠博の世界—」を開催しています。

本展では、写真家・小川忠博氏の縄文写真コレクションから最新作を含む土偶や土器展開写真を中心とする厳選した作品と、岩手県内の出土品を併せて展示しています。学術調査・研究や標本写真とは違う視点で撮影された縄文の多彩で力強く、創造力あふれる表現と造形美をご堪能ください。

写真：木製品（岩手県菴内遺跡） 岩手県所蔵

## 令和6年度花巻市博物館テーマ展

## 新 収 藏 品 展

期間：令和7年2月8日(土)～4月6日(日)

花巻市博物館は令和6年4月に開館20周年を迎え、これまでに約50万人以上のお客様にご来館いただきました。

博物館の命とも言える収蔵品は、開館当初から展示資料の目玉として注目されてきた盛岡南部家の資料や多田等觀請來資料のほか、毎年、市民の方々や花巻ゆかりの方々からの寄贈を受け、今や4万点以上にも及びます。

本展では、令和元年以降に収蔵になった約7,500点の品々の中から、学芸員厳選の資料を紹介します。

## ◆花巻人形

花巻市博物館のコレクションのうち、最も大規模なものが花巻人形です。

花巻人形は、江戸時代後期に盛岡藩領花巻で誕生した土人形です。仙台の堤人形を伝習し制作が始まったといわれ、独自の発展を遂げました。花巻人形は仙台の堤人形、米沢の相良人形とともに「東北三大土人形」と称されています。

当館では現在約4,500点の花巻人形を収蔵しており、令和元年以降には約540点以上の人形が寄贈されました。

令和2年に寄贈を受けた「花巻人形 武将」は、高さ30cmにもなる大型の人形です。たくし上げられた裾や袖から見える手足は筋骨隆々で、非常に迫力があります。

花巻人形の特徴である赤色も、鮮やかに表現されています。



花巻人形 武将

## ◆絵画

当館が専門とする分野のひとつが、花巻の美術工芸です。特に、江戸時代後期から明治時代初期にかけて活躍した小野寺周徳や八重樫豊澤、橋本雪蕉といった「花巻の三画人」の資料はこれまでも様々な機会でご紹介してきました。本展では「花巻の三画人」以外にも、新収蔵となった絵画作品を展示します。



小野寺周徳「飲中八仙図」

本図は小野寺周徳の「飲中八仙図」です。唐の詩人杜甫の『飲中八仙歌』にちなんだ作品で、唐の名だたる8人の酒豪が描かれてています。

そうとう酩酊しているのか従者に抱えられる人物や、支えられながら馬に乗る人物がユーモラスに描かれていて、それぞれの表情や様子もじっくり鑑賞してみてください。

## ◆花巻の明治・大正・昭和

令和に入り、市民の方々のお宅に眠っていた、花巻の明治時代から昭和に至るまでの様々な資料が寄贈されました。街の姿があつという間に変わっていく中で、これらの資料はかつての花巻の姿を今に伝える貴重な資料といえます。



写真 花巻電鉄  
(昭和45年10月13日撮影、瀬川～花巻グラウンド前間)

本資料は、全国の地方鉄道を趣味で撮影された方が花巻電鉄を撮影したもので、昭和39年（1964）と昭和45年（1970）に来花した際の写真が、1冊のアルバムにまとめられて寄贈されました。

花巻駅と志戸平温泉や花巻温泉といった温泉街を繋いだ花巻電鉄ですが、この写真が撮影されたころは志戸平方面に向かう鉛線が廃線となり、残された花巻温泉線も一部区間でのみ運行していました。

昭和47年（1972）に全線が廃止となるまで、温泉へと向かう観光客のみならず、市民の重要な交通手段でもあった花巻電鉄を写す貴重な写真です。

そして、明治から昭和が終わるまでのおよそ120年間のなかで、欠かすことができないトピックが「戦争」です。2025年には太平洋戦争終結から80年を迎えるが、市民の方々から寄贈された戦争に関する資料は「戦争」がどこか遠い国の遙か昔の話ではなく、この花巻もその真っただ中にあったことを現在の私たちに教えてくれます。

太平洋戦争終結の直前、昭和20年（1945）8月10日、花巻の街は米軍による空襲を受けました。花巻駅前を中心に激しい攻撃が展開され、約50人の方が亡くなり、多数の負傷者が発生しました。

右上の写真は、花巻空襲で使用された爆弾の破片です。長らく花巻病院にて保管されていたもので、令和2年に病院内の展示室で展示されていた大量のコレクションと共に寄贈されました。

花巻空襲の際、病院から180メートルの花川橋北側に投下された500ポンド爆弾が爆発しました。この爆発被害の痕跡は、現在も花巻病院跡地と市

役所を繋ぐ道にある、花川橋に遺っています。この爆風によって、病院の壁には爆弾の破片が突き刺さり、病院中の窓ガラスが割れてしまうなど大きな被害がありました。この時、壁に突き刺さったという爆弾の破片が本資料です。



爆弾破片

新収蔵となった資料は、いずれも展示活動や、学芸員の研究に活用されています。初お披露目となる資料も多数展示しますので、この機会にぜひお楽しみください。  
（学芸員 松橋香澄）

## ◆関連イベント

### ★ギャラリートーク

日時：2月8日(土) 13:30～

3月16日(日) 13:30～

場所：花巻市博物館 企画展示室

（要入館料/予約不要）

### 同時開催

#### 「令和6年度 南部お城めぐり展」

花巻市博物館では、南部氏ゆかりのお城を文化財として保護し、整備・活用を図るために、各城館を有する自治体等が連携する「南部お城めぐりプロジェクト」に参加し、「花巻城」と「土沢城」の御城印を販売しています。これに関連し、本プロジェクトに参加する全16城館を紹介するポスター展を開催します。御城印を集めながら各地のお城めぐりをお楽しみいただけましたら幸いです。



花巻市博物館開館20周年記念特別展

# 「縄文ワールド —写真家・小川忠博の世界—」

令和6年10月19日(土)～令和7年1月13日(月・祝)



写真家・小川忠博氏によるSpecialギャラリートークの様子  
背景 山梨県桂野遺跡出土深鉢形土器(山梨県指定有形文化財、笛吹市教育委員会)

花巻市博物館の開館20周年を記念する特別展として開催している本展では、写真家の小川忠博氏(1942～)が40年近く全国各地で撮影した縄文写真の中から最新作を含む、土偶や土器展開写真を中心とする厳選した作品と、岩手県内出土品を併せて展示しています。

小川氏は、早稲田大学卒業後、フリーカメラマンとして週刊誌や月刊誌の取材に携わるかたわら、各種のスリットカメラを小型化し、陶磁器や縄文土器の周囲360度を一画面におさめた「展開写真」の撮影を続けました。特に縄文土器の展開写真は、美術や考古学の分野において、文様に新しい解釈が生まれるなど大きな影響を与えました。

本展では、小川氏の縄文写真コレクションの中から厳選した縄文土器の展開写真を、幅約6～8m、高さ2.8mのダイナミックな規模で展示しています。中でも、長野県桂野遺跡出土の渦巻文が施された深鉢形土器は、半円形に展示し、土器に囲まれているような感覚を楽しむことができます。そのほか、岩手県繫遺跡、長野県藤内遺跡、山梨県一の沢遺跡から出土した深鉢形土器の展開写真を展示しています。大きく拡大された不思議で美しくて迫力ある縄文土器の文様を、ぜひ、この機会にご覧いただきたいと思います。

縄文土器の展開写真から始まった小川氏の縄文



展示風景（土器展開写真）

手前から 山梨県一の沢遺跡出土人体文付深鉢形土器（国指定重要文化財、山梨県立考古博物館）、長野県藤内遺跡出土深鉢形土器（国指定重要文化財、井戸尻考古館）、岩手県繫遺跡出土深鉢形土器（国指定重要文化財、盛岡市遺跡の学び館）、山梨県桂野遺跡出土深鉢形土器（山梨県指定有形文化財、笛吹市教育委員会）



展示風景（国宝土偶）

奥から 長野県中ツ原遺跡出土仮面土偶、長野県棚畠遺跡出土土偶（茅野市尖石縄文考古館）、青森県風張1遺跡出土合掌土偶（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館）、山形県西ノ前遺跡出土土偶（山形県立博物館）、北海道著保内野遺跡出土中空土偶（函館市教育委員会）

遺物の撮影は、石器、土偶など様々な資料へと広がり、現在まで全国各地で精力的に撮り続けています。それらは、写真集『新版縄文美術館』『土偶美術館』などの書籍となり、私たちに縄文時代の生活・社会を生き生きと見せています。

様々な被写体の中でも土偶は、小川氏の撮影によって実物の魅力が存分に引き出され、豊かな表情や今にも動き出しそうな躍動感ある姿が写し出されています。小川氏は土偶の魅力について、「土偶に様々な形があり、精巧さにも差はあります。しかし、どの土偶も作り手自身が祈りを込めながら丹念に作り出した造形物だと考えます。どんな

土偶であっても言葉にできない迫力に満ちているのは、そうした作り手の思いが込められているからかもしれません。」（『土偶美術館』平凡社 2022）と述べています。小川氏の土偶写真は、立脚させるのが難しい土偶でも、工夫を凝らした撮影小道具で立脚させ、土偶を最大限に魅せる演出を考案し撮影しています。また、前面だけでなく、背面も撮影しているので、土偶の造形を様々な角度から見ることができます。今回の展示では、土偶を中心に構成するコーナーを設け、全国各地の多彩な土偶の写真作品を展示しています。

学術調査・研究や標本写真とは違う視点で撮影された小川氏の写真を通して、縄文の多彩で力強く、創造力あふれる表現と造形美をご堪能いただき、縄文文化に興味関心や親しみを抱く機会となりましたら幸いです。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆お知らせ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆  
★12月から下記の実物資料を追加展示します。



展示風景（土偶等）



（左から）長倉I遺跡出土土偶、鳥形注口土器、大日向II遺跡出土人面付土版、板子屋敷3遺跡出土人面付香炉形土器〔駒米町教育委員会所蔵〕

（学芸員 高橋静歩）



市史編さん室では、花巻市の歴史文化を総合的にまとめた『花巻市史』の編さんを進めています。

令和4年4月、花巻市博物館内に「市史編さん室」を、同年10月に市史編さんに必要な事項を協議するための「花巻市史編さん委員会」を設置しました。令和5年11月には、市史編さんの方向性を示す「花巻市史編さん基本方針」を策定し、現在の花巻市域全体の歴史を体系的に整理した市史を編さんすること、市史は資料編・通史編・特別編で構成し、全13巻とすること、児童向け市史を発行することなどを定めるとともに、『花巻市史』は令和18年度の刊行を目指しています。

今年度は、市史編さん事業を本格的に進めていくため、執筆や編集、調査を行う「花巻市史編さん専門部会設置要綱」を8月に制定しました。専門部会は先史、古代、中世、近世、近代、現代、自然、民俗、美術工芸の9部会を組織することとし、そのうち今年度は先史、古代、中世、近世、近代の5部会を立ち上げる予定です。

並行して、市史編さん室では、市史編さんに用いる膨大な書籍や古文書の目録作成といった資料整理も進めています。

今後は、さまざまな形で市史編さん室の活動内容を発信していきます。



【資料調査の様子】

# 祝 入館者数 50万人達成!!

令和6年8月21日、入館者数50万人を記念してセレモニーが行われました。

50万人目になったのは、兵庫県姫路市から祖父母と一緒に訪れた小学3年生の山本愛乃さんです。山本さんとそのご家族様には上田東一市長から入館の証を、佐藤勝教育委員会教育長から記念品として花巻市の無形文化財に指定されている「花巻傘」が贈られました。

博物館開館から20年という節目の年に入館者数50万人を達成することができました。

今後も展示内容を充実させ、さらに60万人、70万人と続していくように、花巻の文化や歴史について調査・研究をしていくとともに、これらを紹介する展示や企画に取り組んでまいります。



# 館長コラム

## 開館20周年の年に

当博物館は、今年で開館20周年を迎えた。花巻市の歴史や文化を学べる施設が欲しいという市民の要望に応え、花巻地方の考古、歴史、美術・工芸などを中心とした人文系博物館として2004年4月に開館している。

以来、常設展示室では、市内の遺跡からの出土品を中心とした考古展示、花巻城と城下町の暮らしなどの歴史展示、そして各方面で活躍した先人紹介も行っている。企画展示室では、当館が誇るチベット仏教の「多田等觀コレクション」、東北三大土人形の「花巻人形コレクション」などの展示のほか、学芸員の調査研究の成果を発表するテーマ展や企画展、そして規模の大きな特別展等を開催してきた。

今年は開館20周年記念として「アニメージュとジブリ展」を開催。これには66日間で約8万人の入館者があり、特別展では最高の記録となった。お陰様で、今年度末頃と考えていた「入館者50万人」を8月中旬に達成することができた。

この人気は、もちろん「ジブリ」というブランドの賜ではあるが、他の要因を挙げてみると、まずは開催時期が良かったことであろう。開催期間の7月20日～9月23日は学校の夏休みにあたり、帰省客の多いお盆を挟んでいた。そのため、親子三代、若者、外国人等も多く、来館者によるSNS発信が盛んに行われたことも大きな宣伝効果となった。さらに関連グッズの充実。やはり、ここでしか買えないという品々は、来館者にとっては魅力的であったようである。

そして、10月19日から「縄文ワールド—写真家・小川忠博の世界—」が開催されている。これは全国各地の「縄文」を40年以上にわたり撮り続けている写真家・小川氏の作品展である。私も30年ほど前に、観音堂遺跡や立石遺跡などの出土品を撮影していただいた事があり、その時に縄文土器の360度展開写真という、今までにない撮影方法に驚いた経験がある。

今回の展示会では、小川氏の膨大なコレクションの中から厳選した作品のほか、実物展示として岩手県内の多彩な出土品も展示されている。新たな視点で「縄文」を見る良い機会になると思われる所以、是非ご来館頂きたい。

## 令和6年12月～令和7年3月の行事予定

### 【企画展示室】

#### ●開館20周年記念特別展

「縄文ワールド—写真家・小川忠博の世界—」  
会期：開催中～令和7年1月13日(月・祝)  
休館日：12月28日(土)～令和7年1月1日(水)

#### ●テーマ展「新収蔵品展」

会期：令和7年2月8日(土)～4月6日(日)

### 【ワークショップ】

#### ◆ミニチュア土器つくり

日時：12月8日(日) 13:30～15:00  
定員：20名 ※要申込  
費用：250円  
申込期限：12月7日(土) 16:00



#### ◆花巻人形絵付け体験

日時：3月23日(日) 13:30～15:00  
定員：15名 ※要申込  
費用：1,500円  
申込期間：2月23日(日) 9:00～3月22日(土) 16:00



花巻人形絵付け

※ワークショップ、講座ともに参加申込みは申込みフォームまたはお電話にてお申込みください。

※各ワークショップ、各講座の会場はいずれも花巻市博物館講座・体験学習室です。

### 【講座】

#### ◆学芸員講座②「特別展 縄文ワールドの見どころ」

日時：12月15日(日) 13:30～15:00  
定員：20名 ※要申込  
費用：無料  
申込期限：12月14日(土) 16:00



学芸員講座②

#### ◆館長講座－3「花巻地方の民俗芸能を知る」

日時：2月23日(日・祝) 13:30～15:00  
定員：30名 ※要申込  
費用：無料  
申込期間：1月23日(木) 9:00～2月22日(土) 16:00



館長講座-3

#### ◆学芸員講座③「北松斎と南部政直の足跡」

日時：3月15日(土) 13:30～15:00  
定員：20名 ※要申込  
費用：無料  
申込期間：2月15日(土) 9:00～3月14日(金) 16:00



学芸員講座③

## 花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松第26地割8番地1  
電話：0198-32-1030 FAX：0198-32-1050  
開館時間：午前8時30分から午後4時30分まで  
休館日：12月28日から1月1日まで

|     |         |           |
|-----|---------|-----------|
| 入館料 | 小学生・中学生 | 150(100)円 |
|     | 高校生・学生  | 250(200)円 |
|     | 一般      | 350(300)円 |

※（ ）内は20名以上の団体割引料金です。

※割安な近隣4館共通券もあります。

※特別展示を行う場合、別に入館料を定める場合があります。

URL:<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/1008981/index.html>

### 交通案内

#### ◆バス

新花巻駅→賢治記念館口  
コミュニティバス 土沢線  
イトヨーカドー行…約5分  
花巻駅→賢治記念館口  
コミュニティバス 土沢線  
道の駅とうわ行…約20分

#### ◆車

花巻空港ICより…約10分

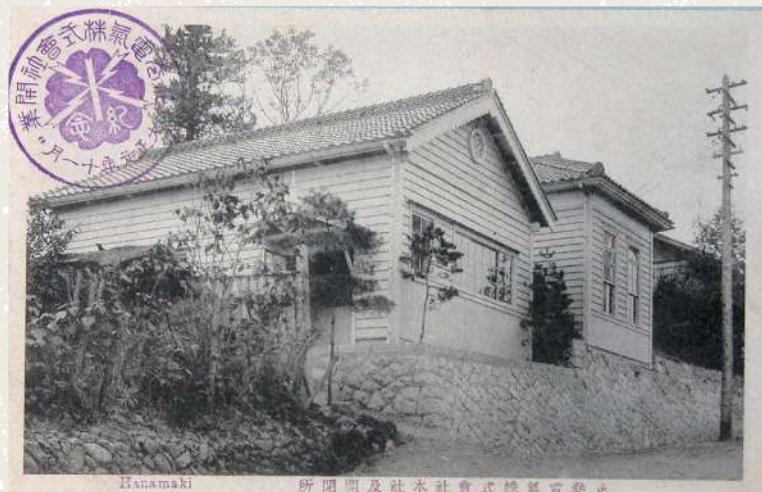
#### ◆徒歩

新花巻駅より…約25分





## 花巻電気株式会社開業記念絵はがきと点燈規定



花巻電気株式会社開業記念絵はがき花巻電氣本社 14.2×9.1cm



花巻電気株式会社点燈規定 36.5×39.5cm

五十燭光で貳圓五拾銭、百燭光で五圓というように料金が設定されています(1燭はロウソク1本程度の明るさ)。また、裏面には、電気にに関する7項目の注意心得が記載されており、感電した人への応急処置の方法なども書かれています。電気が普及し始めた当時の様子をうかがい知ることができる貴重な資料です。

(学芸調査員 三浦友季)

花巻の町にはじめて電気が明かりが灯ったのは、明治から大正に改元された年でした。

明治45年(1912)1月に資本金7万円で創立された花巻電気株式会社は、湯口の松原に豊沢川の水を利用した発電所を建設し、大正元年11月、花巻川口町・花巻町・湯口村・根子村に送電を開始しました。

花巻電気株式会社の建物は、絵はがきとして残されています。絵はがきには「花巻電気株式会社開業 大正元年十一月」という記念スタンプが押されていることから、開業当時に撮影されたものと思われます。画面右端には電柱も写っています。

電気の供給開始にあたっては、花巻電気から点燈規定が配布されました。表面には、申込み方法や料金表、電線器具及工事のことなどが記されています。電灯には白熱灯及び孤光灯の2種類があり、それぞれ明るさと1ヶ月の利用回数によって料金が変わりました。白熱灯の常夜灯を利用する場合、五燭光で四拾銭、